

**2019年度  
IR説明資料**  
(2020年3月期)

2020年5月12日

**不二製油グループ本社株式会社**

## 目 次

1	連結 損益概要(4Q)	…	3 ページ
2	連結 損益概要(4Q累計)	…	4
3	連結 貸借対照表	…	5
4	連結 キャッシュ・フロー	…	5
5	連結 指標	…	6
6	2020年度通期業績予想	…	7
7	設備投資額・減価償却費の推移	…	8
8	配当の推移	…	8
9	2019年度売上高・営業利益（所在地別・事業別）	…	9
10	2020年度通期業績予想 売上高・営業利益（所在地別・事業別）	…	10
11	中期戦略製品群別 販売数量推移(対前年同期比)	…	11
12	主要関連相場	…	12
13	中期経営計画	…	13
14	トピックス	…	13

※「IR説明資料」について

当資料は、短信補足資料（1～8）に、所在地別実績等の詳細データ（9～14）を追加し統合した資料です

### 決算期変更について

#### 通期

	国内	海外		
		決算期変更会社	豪州IFS	Blommer
2018年度	2018年4月-2019年3月	2018年1月-12月	期中取得の為、6ヶ月数値取込 (2018年7月-12月)	期末取得の為、BS取込のみ
2019年度 海外15ヶ月	2019年4月-2020年3月	<b>2019年1月-2020年3月</b>	2019年1月-12月	2019年2月-2020年1月
海外12ヶ月(1-12月) 参考値		2019年1月-12月		
海外12ヶ月(4-3月) 参考値		国内と同じ		
2020年度	2020年4月-2021年3月	<b>国内と同じ</b>	2020年1月-12月	2020年2月-2021年1月

#### 第4四半期(4Q)

	国内	海外		
		決算期変更会社	豪州IFS	Blommer
2018年度4Q	2019年1月-2019年3月	2018年10月-12月	決算期変更会社と同じ	期末取得の為、BS取込のみ
2019年度4Q 海外6ヶ月	2020年1月-2020年3月	<b>2019年10月-2020年3月</b>	2019年10月-12月	2019年11月-2020年1月
海外3ヶ月(10-12月) 参考値		2019年10月-12月		
海外3ヶ月(1-3月) 参考値		国内と同じ		

※ 当社グループは、マネジメントサイクルを統一することでグループ一体となった経営を推進するとともに、業績等の経営情報の適時・適切な開示により経営の透明性を更に高めることを目的として、当連結会計年度より決算日を3月31日に変更又は連結決算日に仮決算を行う方法に変更しています。この決算期変更に伴い、当連結会計年度は、当該海外グループ会社については2019年1月1日から2020年3月31日までの15ヶ月を連結し、連結損益計算書を通して調整しています。

（海外グループ会社のうち買収して間もない豪州IFSおよびBlommerを除く）

当連結会計年度は、決算期変更の移行期となる為、決算説明資料上、当社で調整した数値を参考値として数値の比較を行っています。対2018年度の比較では、決算期変更会社の2019年度を前年同月(通期 1-12月、4Qは 10-12月 および 1-3月)に調整した数値を使用しています。また、対2020年度の比較では、決算期変更会社の2019年度を2020年度と同月数値(通期 4-3月)に調整した数値を使用しています。

- ・ 決算期変更会社 : 決算日を12月31日から3月31日に変更したまたは連結決算日に仮決算を行う方法に変更した海外グループ会社（全27社）
- ・ 豪州IFS : INDUSTRIAL FOOD SERVICES PTY LIMITED
- ・ Blommer : Blommer Chocolate Company およびサブ連結対象会社 8 社

# ◆ 1. 連結 損益概要(4Q : 日本1-3月、海外グループ会社10-3月)

第4四半期 (日本1-3月3ヶ月、海外グループ会社10-3月6ヶ月)

(単位：億円)

		下記は参考値*1									
		18年度4Q	19年度4Q	19年度4Q		前年同期比		決算期変更	決算期変更	前年同月 (1-3月) 比	
		日本1-3月 海外10-12月 (3ヶ月)	日本1-3月 海外10-3月 (6ヶ月)	日本1-3月 海外10-12月 (3ヶ月)	増減額	増減率	海外のみ 19年1-3月 (19年度1Q)	海外のみ 20年1-3月 (19年度4Q)	増減額	増減率	
売上高	植物性油脂	256	405	241	▲16	▲6.2%	162	164	+2	+1.4%	
	業務用チョコレート	189	508	434	+246	+130.2%	83	74	▲10	▲11.9%	
	乳化・発酵素材	211	235	191	▲20	▲9.6%	59	44	▲14	▲24.6%	
	大豆加工素材	86	84	80	▲6	▲6.8%	4	4	+0	+1.7%	
	合計	742	1,232	946	+204	+27.5%	309	287	▲22	▲7.1%	
営業利益	植物性油脂	17	39	23	+6	+35.6%	11	16	+5	+43.3%	
	業務用チョコレート	10	26	19	+9	+82.1%	8	7	▲1	▲9.0%	
	乳化・発酵素材	4	8	8	+4	+83.5%	3	▲0	▲3	-	
	大豆加工素材	6	9	8	+2	+34.0%	1	1	+0	+6.2%	
	グループ管理費用	▲12	▲13	▲13	▲1	-	-	-	-	-	
合計	26	70	46	+20	+75.7%	23	24	+2	+6.9%		
営業利益率	3.5%	5.6%	4.8%	+1.3pt	-	7.3%	8.4%	+1.1pt	-		
経常利益	25	72	42	+16	+64.6%						
親会社株主に帰属する四半期純利益	26	43	21	▲4	▲16.5%						

※欧州は、2019年度より「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分割。2018年度は遡及修正済み。

※2019年度は海外グループ会社の決算期を12月から3月に変更した為、海外グループ会社の4Qは2019年10月-2020年3月の6ヶ月。

(Blommer、豪州IFSを除く)

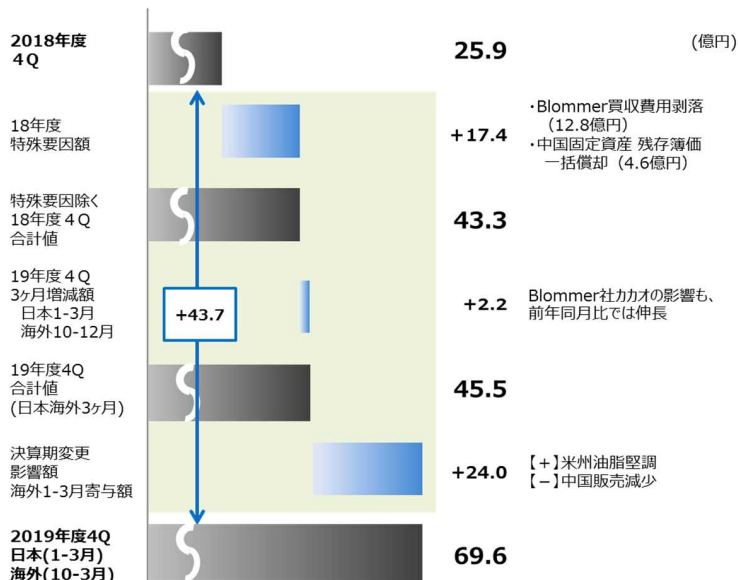
\*1: ・「19年度4Q 日本1-3月、海外10-12月(3ヶ月)」は海外グループ会社の決算期変更を加味しない場合の4Q参考値。

・「決算期変更海外のみ19年1-3月(19年度1Q)」および「決算期変更海外のみ20年1-3月(19年度4Q)」は、

決算期変更を実施した海外グループ会社の前年同月(1-3月)を比較した数値。

■ 営業利益	
<b>&lt;ポイント&gt;</b>	
海外グループ会社 (Blommer、豪州IFSを除く) の決算期変更に伴い、第4四半期は海外グループ会社6ヶ月間の数値。Blommerのカカオの先物評価損益の影響や、中国事業における新型コロナウイルスの影響による利益の減少はあったものの、2018年度第4四半期に計上したBlommerの買収関連費用の剥落、中国の固定資産の残存簿価の一括償却の反動、2019年度での植物性油脂事業や大豆加工素材事業が堅調に推移した。	
<b>&lt;セグメント別&gt;</b>	
植物性油脂	日本、米州にてチョコレート用油脂の販売が堅調に推移した。
業務用チョコレート	前年度の買収関連費用(13億円)の剥落や、ハラドでの数量の増加があったが、Blommerのカカオ先物評価損益影響により利益を押し下げた。日本では前年度並みに推移、中国では新型コロナウイルスの影響を受けたが、前年度に固定資産の残存簿価を一括償却をした反動があった。
乳化・発酵素材	
大豆加工素材	機能剤は減少したが、大豆たん白素材が堅調であった。
<b>■ 親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	
営業利益の伸長も、特別損失等計上。	

## 2019年度4Q 営業利益増減分析



### <4Q 業務用チョコレート事業営業利益内訳>

	FY18 Q4	FY19 日本1-3月 海外10-12月	FY19 海外1-3月	要因分析
業務用チョコレート	10.5	19.1	7.3	FY18に買収費用計上 FY19に先物評価計上
日本	16.0	17.4	-	
米州内、先物影響	3.4	▲1.2	4.7	
東南アジア	-	▲0.5	-	
中国	3.2	1.8	2.2	
欧州	▲1.0	0.7	▲0.3	
連結調整	1.6	0.4	0.7	
	▲12.7	0.2	-	Blommer買収費用剥落

## ◆2. 2019年度連結 損益概要 (4Q累計)

### 2019年度業績

(単位：億円)

		18年度		19年度		19年度		前年同期比	
				海外		海外			
				15ヶ月		12ヶ月			
						(1-12月)			
								増減額	
								増減率	
売上高	植物性油脂	1,061	1,141	977	▲85	▲8.0%			
	業務用チョコレート	721	1,801	1,727	+1,006	+139.6%			
	乳化・発酵素材	865	852	808	▲57	▲6.6%			
	大豆加工素材	361	354	349	▲12	▲3.3%			
	合計	3,008	4,147	3,861	+852	+28.3%			
営業利益	植物性油脂	78	112	96	+18	+22.9%			
	業務用チョコレート	78	83	76	▲2	▲2.1%			
	乳化・発酵素材	33	41	41	+7	+22.2%			
	大豆加工素材	33	40	39	+6	+19.3%			
	グループ管理費用	▲37	▲40	▲40	▲3	-			
合計	185	236	212	+27	+14.4%				
営業利益率	6.2%	5.7%	5.5%	▲0.7pt	-				
経常利益	182	224	193	+11	+6.1%				
親会社株主に帰属する当期純利益	116	164	142	+26	+22.3%				
EBITDA	300	408	370	+70	+23.4%				
ROE	7.3%	10.5%	-	-	-				
営業キャッシュフロー	226	371	-	-	-				
投資キャッシュフロー	▲791	▲183	-	-	-				
フリーキャッシュフロー	▲565	188	-	-	-				
NET有利子負債	1,392	1,276	-	-	-				
NET運転資本	171	632	-	-	-				
NET有利子負債/EBITDA	4.6倍	3.1倍	-	-	-				
CCC(キャッシュコンバージョンサイクル)	151日	113日	-	-	-				

下記は参考値

#### ■営業利益

##### <ポイント>

19年度は海外事業の決算期変更を実施、海外は15ヶ月決算。業務用チョコレート事業はBlommerのカカオの先物評価損益の影響により利益が押し下げられたが、植物性油脂事業、乳化・発酵素材事業、大豆加工素材事業は堅調であった。

##### <セグメント別>

##### 植物性油脂

日本、米州にてチョコレート用油脂 (CBE) の販売が堅調に推移したことや、原料相場の安定推移により採算が改善した。

##### 業務用チョコレート

欧州、日本は堅調も、Blommerの先物評価損益影響や修繕費の増加、販売量減少などがあった。

##### 乳化・発酵素材

日本は収益性改善も、東南アジアの下振れ、中国における新型コロナウイルスの影響が見られた。

##### 大豆加工素材

日本において、機能剤は減少したが、大豆たん白素材、大豆たん白食品の販売が堅調。

#### ■親会社株主に帰属する当期純利益

国内事業の堅調な推移および海外グループ会社の決算期統一による取込増加に加え、前期の中国関連事業での固定資産減損損失および米国子会社取得関連費用の反動等により増益

#### ■CCC

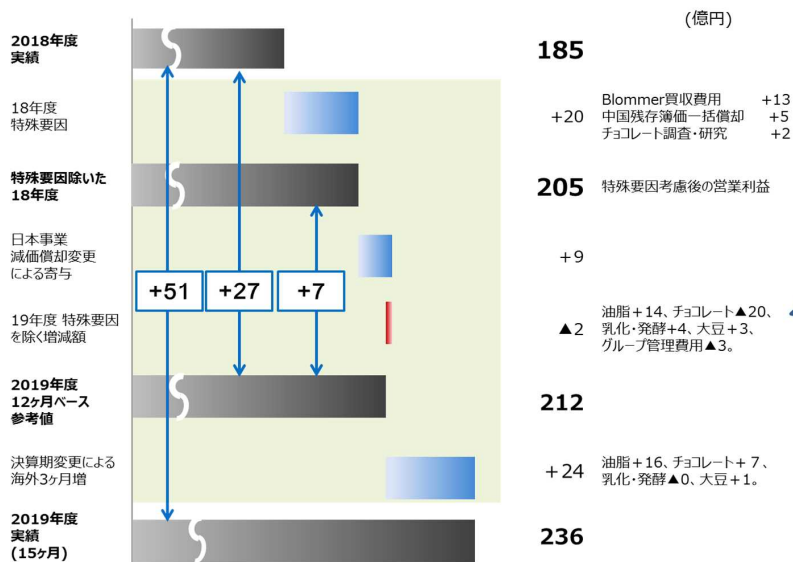
2019年度は、Blommerの影響除けば104日。

※欧州は、2019年度より「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分割。2018年度は遡及修正済み。

\*2019年度は海外グループ会社を12月決算から3月決算に変更したことにより、15ヶ月 (Blommer、豪州IFSを除く)

\*「19年度海外12ヶ月」は、海外グループ会社を1-12月の12ヶ月として算出した参考値。(日本19年4-20年3月、海外19年1-12月)

### 2019年度 営業利益増減分析



#### <FY19 業務用チョコレート事業営業利益内訳>

累計	FY18	FY19 日本12ヶ月 海外12ヶ月	FY19 日本12ヶ月 海外15ヶ月	要因分析
業務用チョコレート	77.6	75.9	83.2	
日本	64.5	69.7	69.7	菓子向けが堅調に推移
米州	13.6	▲8.2	▲3.5	
-Blommer、ハラルド				Blommerは高付加価値品が伸長も先物影響が発生。ハラルドは3Q以降販売数量堅調に推移。
先物評価損	-	▲20.0	▲20.0	
東南アジア	9.6	8.8	11.0	
中国	▲0.3	1.4	1.1	
欧州	3.2	4.0	4.7	販売堅調
連結調整	▲13.1	0.2	0.2	FY18買収費用計上

### ◆3. 連結 貸借対照表

(単位：億円)

	18年度 期末*	19年度 期末	前期末比	主な増減要因
流動資産	1,854	1,687	▲168	原材料及び貯蔵品の減少、受取手形・売掛金の減少
固定資産	2,051	1,985	▲66	のれんの減少、投資有価証券の減少
繰延資産	-	2	+2	
資産合計	3,905	3,674	▲232	
有利子負債	1,605	1,462	▲142	短期借入金の減少
その他負債	708	631	▲77	仕入債務の減少
負債合計	2,313	2,094	▲219	
純資産合計	1,592	1,580	▲12	為替換算調整勘定の悪化

\* 2019年度連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年度期末は遡及修正済み。

### ◆4. 連結 キャッシュ・フロー

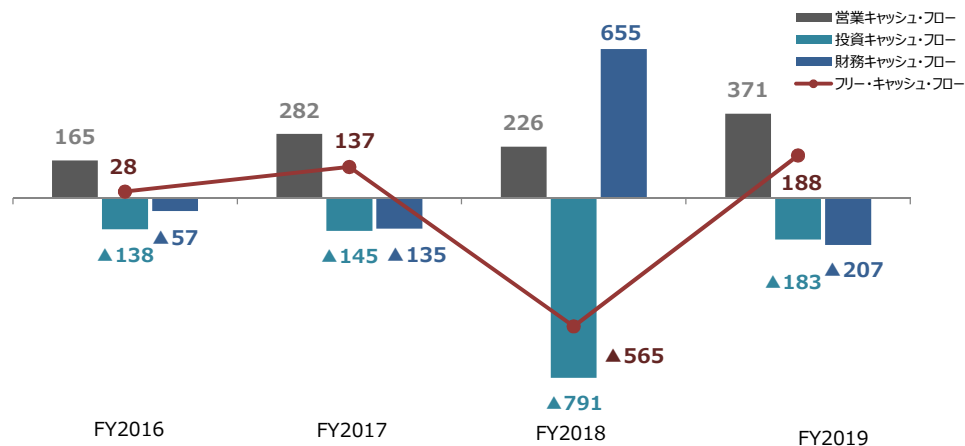
(単位：億円)

	18年度	19年度	前期比	主な増減要因
税金等調整前当期純利益	165	233	+67	
減価償却費	120	155	+35	
のれん償却費	7	24	+17	
他増減	▲66	▲42	+24	
営業キャッシュ・フロー	226	371	+144	
投資キャッシュ・フロー	▲791	▲183	+608	18年度 Blommer取得
フリー・キャッシュ・フロー	▲565	188	+752	
借入金等による調達・返済	754	▲142	▲896	短期借入金の返済
配当金支払等その他	▲99	▲65	+34	
財務キャッシュ・フロー	655	▲207	▲862	
現金及び現金同等物増減額	82	▲26	▲108	
現金及び現金同等物残高	212	186	▲26	

(注) 減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

#### 連結キャッシュ・フロー

(単位：億円)



## ◆5. 連結指標

(単位：億円)

	17年度 実績	18年度 実績	19年度 実績(*2)	20年度 予想
EBITDA	310	300	408	374
設備投資額	147	159	180	230
減価償却費	100	110	130	128
有利子負債	566	1,605	1,462	1,402
NET有利子負債	436	1,392	1,276	1,190
NET運転資本	633	171	632	563
NET有利子負債/EBITDA	1.4	4.6	3.1	3.2
1株当たり純資産	1,864円	1,820円	1,809円	1,884円
自己資本比率	59.2%	40.1%	42.3%	44.3%
D/ELシオ	0.35	1.03	0.94	0.87
Net D/ELシオ	0.27	0.89	0.82	0.73
営業キャッシュフロー	282	226	371	337
フリーキャッシュフロー	137	▲565	188	164
ROE	8.8%	7.3%	10.5%	7.2%
ROA	7.4%	5.5%	6.0%	4.9%
売上高営業利益率	6.7%	6.2%	5.7%	5.2%
CCC	103日	105日(*1)	113日(*3)	104日

(注) ・減価償却費は有形固定資産の減価償却費を、純資産は非支配株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。

・D/ELシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本 ・Net D/ELシオ = Net有利子負債 (有利子負債 - 現預金) ÷ 自己資本

・ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 自己資本 (期首と期末の平均値)

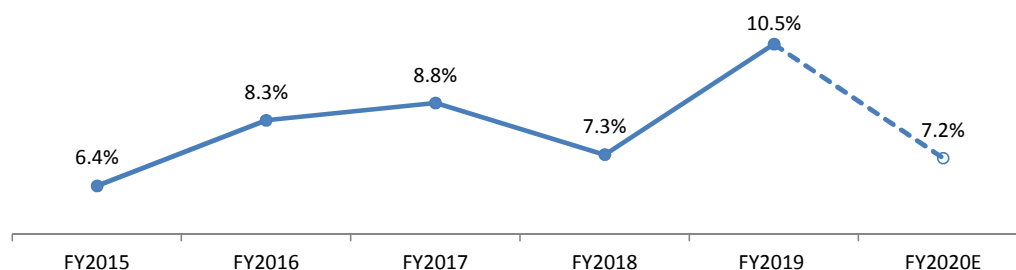
・ROA = 経常利益 ÷ 総資産 (期首と期末の平均値)

(\*1) 2018年度のCCCはBlommerを除く。

(\*2) Blommer、蒙州IFSを除く海外グループ会社の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。

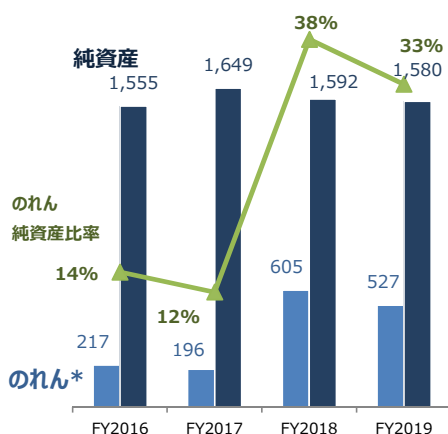
(\*3) 15ヶ月決算を適用した海外グループ会社については12ヶ月換算し算出

### ROE



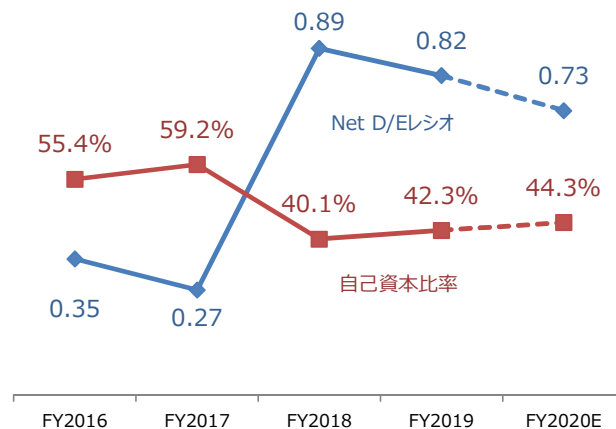
### のれん純資産比率

(単位：億円)



\*のれんは広義ののれんを使用

### Net D/ELシオ 自己資本比率



## ◆6. 2020年度通期業績予想

### 2020年度通期業績予想

(単位：億円)

	19年度 実績 海外15ヶ月	19年度 19年4月- 20年3月 (12ヶ月)※	20年度 予想	参考 前年同期 (4~3月)比	
				増減額	増減率
売上高	植物性油脂	1,141	979	921	▲58 ▲5.9%
	業務用チョコレート	1,801	1,717	1,670	▲47 ▲2.8%
	乳化・発酵素材	852	793	789	▲4 ▲0.6%
	大豆加工素材	354	347	320	▲27 ▲7.8%
	合計	4,147	3,837	3,700	▲137 ▲3.6%
営業利益	植物性油脂	112	101	84	▲17 ▲16.6%
	業務用チョコレート	83	75	85	+9 +12.2%
	乳化・発酵素材	41	38	34	▲4 ▲11.2%
	大豆加工素材	40	39	35	▲4 ▲10.8%
	グループ管理費用	▲40	▲39	▲45	▲5 —
合計	236	215	193	▲22 ▲10.1%	
営業利益率	5.7%	5.6%	5.2%	▲0.3pt	—
経常利益	224	203	178	▲25 ▲12.2%	
親会社株主に帰属する当期純利益	164	147	115	▲32 ▲21.7%	

#### ■営業利益

##### <ポイント>

2020年度は、業務用チョコレート事業での、Blommerの利益回復を主とした伸張を見込んでいたものの、上期における新型コロナウイルスの影響(▲39億円)を考慮し、対前年減益計画。

##### <セグメント別>

##### 植物性油脂

原材料相場の上昇による採算性の低下に加え、新型コロナウイルスによる販売の減少の影響(▲4億円) などにより減益計画。

##### 業務用チョコレート

新型コロナウイルスの影響(▲25億円)は見込むものの、Blommerのカカオの先物評価損益の抑制、また下期での販売の伸長により増益計画。

##### 乳化・発酵素材

中国は前年並みを見込むが、新型コロナウイルスの影響(▲6億円)、日本、東南アジアでの販売減により減益計画。

##### 大豆加工素材

新型コロナウイルスの影響は▲3億円を見込む。欧州の新工場の費用が先行。

※19年度 19年4月-20年3月(12ヶ月)は、海外グループ会社 (Blommer、豪州IFSを除く) の2019年度決算期を2019年4月 - 2020年3月とした場合の数値。

### 2020年度営業利益増減分析

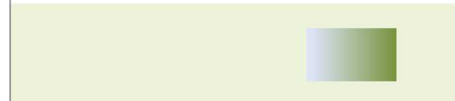
(単位：億円)

2019年度実績  
(日本12ヶ月)  
(海外15ヶ月)



236

決算期間調整値



▲21

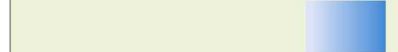
2019年1-3月  
決算期変更会社営業利益

19年度調整値  
日本(4-3月)  
海外(4-3月)



215

各事業の  
伸長計画



+17

油脂▲13、チョコ+35、乳化+2、  
大豆▲1、管理費用▲5

2020年度  
コロナ影響額  
考慮前



231

コロナ影響額



▲39

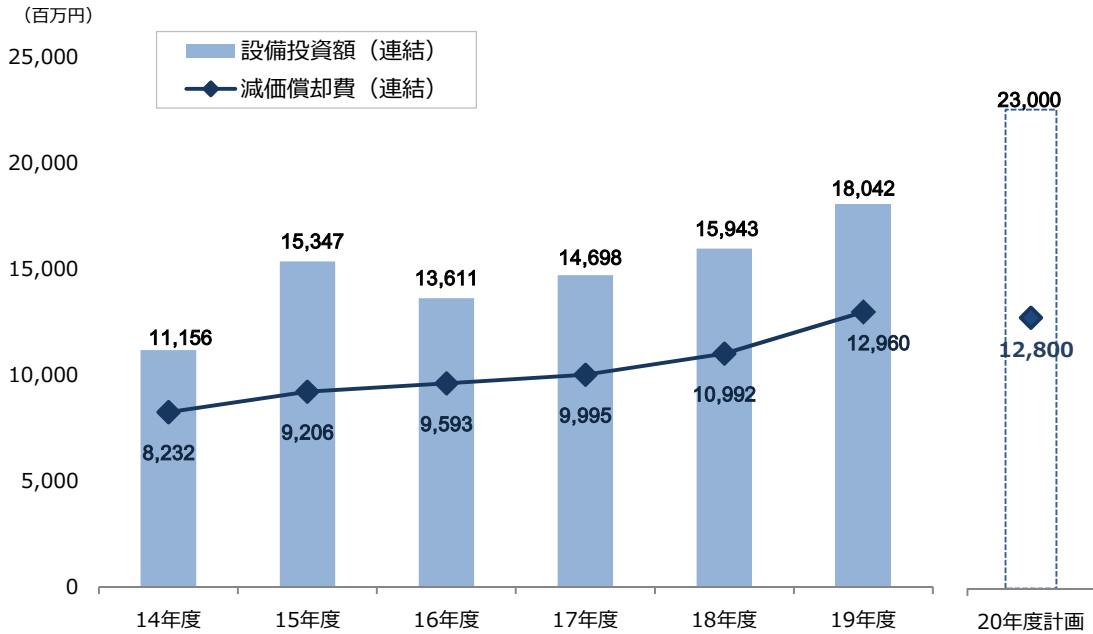
油脂▲4、チョコ▲25、  
乳化▲6、大豆▲3

2020年度  
業績予想



193

## ◆7. 設備投資額・減価償却費の推移



### 2019年度実績(海外15ヶ月)

設備投資 180億円

<主な投資内容>

- ・北米 油脂 新拠点設立 32億円
- ・Blommer 設備投資 15億円
- ・日本 粒状大豆たん白工場 9億円

減価償却費 130億円

### 2020年度計画

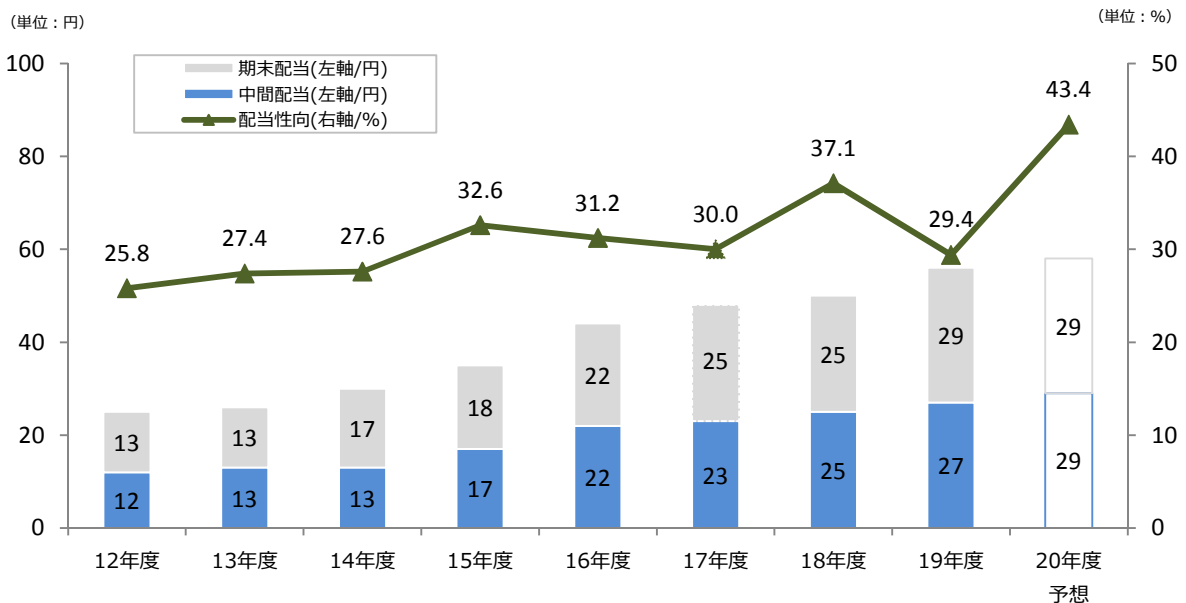
設備投資 230億円

<主な投資内容>

- ・北米 油脂 新拠点設立 36億円
- ・Blommer 設備投資 34億円

減価償却費 128億円

## ◆8. 配当の推移





## ◆9. 2019年度売上高・営業利益（所在地別・事業別）

売上高

(単位：百万円)

	年度*	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019年度(15ヶ月)	35,430	▲1,352	35,156	6,374	20,931	3,138	3,122	229	19,463	▲426	114,104	7,964
	2019年度(3ヶ月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2019年度(12ヶ月)	35,430	▲1,352	27,541	▲1,241	16,664	▲1,129	2,662	▲231	15,362	▲4,527	97,661	▲8,479
	2018 実績	36,782	-	28,782	-	17,793	-	2,893	-	19,889	-	106,140	-
業務用 チョコレート	2019年度(15ヶ月)	38,189	▲371	121,576	104,329	12,501	2,639	3,454	558	4,345	812	180,068	107,968
	2019年度(3ヶ月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2019年度(12ヶ月)	38,189	▲371	117,174	99,927	10,664	802	2,949	53	3,739	206	172,717	100,617
	2018 実績	38,560	-	17,247	-	9,862	-	2,896	-	3,533	-	72,100	-
乳化・発酵 素材	2019年度(15ヶ月)	58,837	▲3,650	-	-	12,778	1,412	13,577	938	-	-	85,192	▲1,300
	2019年度(3ヶ月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2019年度(12ヶ月)	58,837	▲3,650	-	-	10,245	▲1,121	11,694	▲945	-	-	80,776	▲5,716
	2018 実績	62,487	-	-	-	11,366	-	12,639	-	-	-	86,492	-
大豆加工 素材	2019年度(15ヶ月)	32,721	▲408	-	-	-	-	2,638	▲343	-	-	35,360	▲750
	2019年度(3ヶ月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2019年度(12ヶ月)	32,721	▲408	-	-	-	-	2,189	▲792	-	-	34,911	▲1,199
	2018 実績	33,129	-	-	-	-	-	2,981	-	-	-	36,110	-
売上高計	2019年度(15ヶ月)	165,179	▲5,780	156,733	110,703	46,211	7,189	22,792	1,382	23,809	387	414,727	113,883
	2019年度(3ヶ月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2019年度(12ヶ月)	165,179	▲5,780	144,715	98,685	37,573	▲1,449	19,496	▲1,914	19,101	▲4,321	386,066	85,222
	2018 実績	170,959	-	46,030	-	39,022	-	21,410	-	23,422	-	300,844	-

(注) 上記売上高は、外部顧客への売上高、前期比は前期の単純比較。

2019年度1Qより、欧州を「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分けて表示（従来は「植物性油脂」に含む）。2018年実績も適及修正済み。

## 営業利益

(単位：百万円)

	年度*	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計		
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	
植物性油脂	2019年度(15ヶ月)	4,626	642	3,218	1,465	1,657	728	220	▲86	1,615	773	▲134	▲143	-	-	11,203	3,378	
	2019年度(3ヶ月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2019年度(12ヶ月)	4,626	642	2,355	602	1,152	223	249	▲57	1,369	527	▲134	▲143	-	-	9,617	1,792	
	2018 実績	3,984	-	1,753	-	929	-	306	-	842	-	9	-	-	-	7,825	-	
業務用 チョコレート	2019年度(15ヶ月)	6,974	528	▲352	▲1,712	1,100	139	111	139	469	146	22	1,328	-	-	8,324	568	
	2019年度(3ヶ月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2019年度(12ヶ月)	6,974	528	▲820	▲2,180	882	▲79	138	166	398	75	22	1,328	-	-	7,594	▲162	
	2018 実績	6,446	-	1,360	-	961	-	▲28	-	323	-	▲1,306	-	-	-	7,756	-	
乳化・発酵 素材	2019年度(15ヶ月)	2,321	491	-	-	-	224	1,263	272	-	-	-	46	▲254	-	-	4,054	734
	2019年度(3ヶ月)	-	-	-	-	▲43	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2019年度(12ヶ月)	2,321	491	-	-	466	268	1,222	231	-	-	46	▲254	-	-	4,056	736	
	2018 実績	1,830	-	-	-	198	-	991	-	-	-	300	-	-	-	3,320	-	
大豆加工 素材	2019年度(15ヶ月)	3,151	503	-	-	-	-	620	36	▲23	▲23	267	211	-	-	4,016	727	
	2019年度(3ヶ月)	-	-	-	-	-	-	92	-	-	-	-	-	-	-	92	-	
	2019年度(12ヶ月)	3,151	503	-	-	-	-	528	▲56	▲23	▲23	267	211	-	-	3,924	635	
	2018 実績	2,648	-	-	-	-	-	584	-	-	-	56	-	-	-	3,289	-	
連結調整	2019年度(15ヶ月)	344	1,532	8	17	26	17	9	73	▲87	▲87	▲301	▲1,554	-	-	-	-	
	2019年度(3ヶ月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2019年度(12ヶ月)	344	1,532	8	17	26	17	9	73	▲87	▲87	▲301	▲1,554	-	-	-	-	
	2018 実績	▲1,188	-	▲9	-	9	-	▲64	-	-	-	1,253	-	-	-	-	-	
グループ 管理費用	2019年度(15ヶ月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,000	▲335	▲4,000	▲335
	2019年度(3ヶ月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2019年度(12ヶ月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,000	▲335	▲4,000	▲335
	2018 実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲3,665	-	▲3,665	-
営業利益計	2019年度(15ヶ月)	17,418	3,696	2,874	▲229	3,206	1,108	2,225	437	1,974	809	▲100	▲412	▲4,000	▲335	23,598	5,073	
	2019年度(3ヶ月)	-	-	1,331	-	678	-	78	-	317	-	-	-	-	-	-	2,404	-
	2019年度(12ヶ月)	17,418	3,696	1,543	▲1,560	2,527	429	2,147	359	1,657	492	▲100	▲412	▲4,000	▲335	21,193	2,668	
	2018 実績	13,722	-	3,103	-	2,098	-	1,788	-	1,165	-	312	-	-	-	▲3,665	-	18,525

(注) 2019年度1Qより、欧州を「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分けて表示（従来は「植物性油脂」に含む）。2018年度実績も適及修正済み。

前期比は前期の単純比較。

\* 2019年度(15ヶ月)は、日本事業19年4月～20年3月12ヶ月と、決算期変更海外グループ会社（Blommer、豪州IFSを除く）19年4月～20年3月15ヶ月の合計値  
\* 2019年度(3ヶ月)は決算期変更海外グループ会社20年1月～20年3月の数値、2019年度(12ヶ月)は決算期変更海外グループ会社19年1月～19年12月の数値。

## ポイント

セグメント	エリア	2019年度
植物性油脂	日本	チョコレート用油脂の堅調な販売により増益
	米州	2018年度の寒波・ハリケーンの影響の反動に加え、チョコレート用油脂（CBE）の数量増加により増益
	東南アジア	原材料の採算改善により増益
	中国	チョコレート用油脂の数量減により減益
	欧州	原材料の採算改善により増益
業務用 チョコレート	日本	アイス用チョコレートは減少したが、菓子向けの堅調な販売により増益
	米州	ハラドは販売数量堅調も、1Q繁忙期の数量減、リアル安による原料コストの増加、またBlommerでの先物評価損益の影響、販売数量の減少により減益
	東南アジア	固定費の増加等により12ヶ月比較で減益
	中国	菓子向けの販売が堅調に推移し増益
	欧州	数量増により増益
乳化・発酵 素材	日本	デザート市場向けクリームが伸長し増益
	東南アジア	調製品事業低迷も、前年比では採算改善により増益
	中国	販売数量減少も採算改善により増益
大豆加工 素材	日本	大豆たん白素材、大豆たん白食品が堅調に推移し増益
	中国	機能剤の数量減により12ヶ月比較では減益
	欧州	ドイツにFuji Brandenburg GmbH設立

◆ 10. 2020年度通期業績予想 売上高・営業利益（所在地別・事業別）

売上高

(単位：百万円)

	年度*	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2020予想	34,300	▲1,130	25,000	▲3,200	17,600	1,287	2,100	▲424	13,100	▲2,317	92,100	▲5,786
	2019 (4-3月12ヶ月)	35,430	▲1,352	28,200	▲582	16,313	▲1,480	2,524	▲369	15,417	▲4,472	97,886	▲8,254
	2018	36,782	-	28,782	-	17,793	-	2,893	-	19,889	-	106,140	-
業務用 チョコレート	2020予想	33,000	▲5,189	114,000	▲2,667	10,000	▲593	6,600	3,809	3,400	▲79	167,000	▲4,723
	2019 (4-3月12ヶ月)	38,189	▲371	116,667	99,420	10,593	731	2,791	▲105	3,479	▲54	171,723	99,623
	2018	38,560	-	17,247	-	9,862	-	2,896	-	3,533	-	72,100	-
乳化・発酵 素材	2020予想	55,400	▲3,437	-	-	8,900	▲866	14,600	3,865	-	-	78,900	▲439
	2019 (4-3月12ヶ月)	58,837	▲3,650	-	-	9,766	▲1,600	10,735	▲1,904	-	-	79,339	▲7,153
	2018	62,487	-	-	-	11,366	-	12,639	-	-	-	86,492	-
大豆加工 素材	2020予想	29,900	▲2,821	-	-	-	-	2,100	99	-	-	32,000	▲2,722
	2019 (4-3月12ヶ月)	32,721	▲408	-	-	-	-	2,001	▲980	-	-	34,722	▲1,388
	2018	33,129	-	-	-	-	-	2,981	-	-	-	36,110	-
売上高計	2020予想	152,600	▲12,579	139,000	▲5,867	36,500	▲173	25,400	7,348	16,500	▲2,397	370,000	▲13,672
	2019 (4-3月12ヶ月)	165,179	▲5,780	144,867	98,837	36,673	▲2,349	18,052	▲3,358	18,897	▲4,525	383,672	82,828
	2018	170,959	-	46,030	-	39,022	-	21,410	-	23,422	-	300,844	-

(注) 上記売上高は、外部顧客への売上高。

(注) 2019年度1Qより、欧州を「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分けて表示（従来は「植物性油脂」に含む）。2018年度実績も遡及修正済み。

営業利益

(単位：百万円)

	年度*	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2020予想	3,940	▲686	1,676	▲1,055	1,560	235	125	▲31	1,096	▲100	45	▲43	-	-	8,442	▲1,682
	2019 (4-3月12ヶ月)	4,626	642	2,731	978	1,325	396	156	▲150	1,196	354	88	79	-	-	10,124	2,299
	2018	3,984	-	1,753	-	929	-	306	-	842	-	9	-	-	-	7,825	-
業務用 チョコレート	2020予想	5,880	▲1,094	1,663	2,438	880	15	▲156	▲222	167	▲198	31	▲18	-	-	8,465	918
	2019 (4-3月12ヶ月)	6,974	528	▲775	▲2,135	865	▲96	66	94	365	42	49	1,355	-	-	7,547	▲209
	2018	6,446	-	1,360	-	961	-	▲28	-	323	-	▲1,306	-	-	-	7,756	-
乳化・発酵 素材	2020予想	1,960	▲361	-	-	144	▲108	1,231	176	-	-	36	▲131	-	-	3,371	▲424
	2019 (4-3月12ヶ月)	2,321	491	-	-	252	54	1,055	64	-	-	167	▲133	-	-	3,795	475
	2018	1,830	-	-	-	198	-	991	-	-	-	300	-	-	-	3,320	-
大豆加工 素材	2020予想	2,898	▲253	-	-	-	-	719	192	▲178	▲155	69	▲207	-	-	3,508	▲424
	2019 (4-3月12ヶ月)	3,151	503	-	-	-	-	527	▲57	▲23	▲23	276	220	-	-	3,932	643
	2018	2,648	-	-	-	-	-	584	-	-	-	56	-	-	-	3,289	-
連結調整	2020予想	181	▲164	-	0	-	▲38	-	▲38	0	87	▲181	152	-	-	-	-
	2019 (4-3月12ヶ月)	345	1,533	▲0	9	38	29	38	102	▲87	▲87	▲333	▲1,586	-	-	-	-
	2018	▲1,188	-	▲9	-	9	-	▲64	-	-	-	1,253	-	-	-	-	-
グループ 管理費用	2020予想	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,486	▲546	▲4,486	▲546
	2019 (4-3月12ヶ月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲3,940	▲275	▲3,940	▲275
	2018	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲3,665	-	▲3,665	-
営業利益計	2020予想	14,859	▲2,559	3,339	1,384	2,584	103	1,919	77	1,085	▲366	0	▲249	▲4,486	▲546	19,300	▲2,159
	2019 (4-3月12ヶ月)	17,418	3,696	1,955	▲1,148	2,481	383	1,842	54	1,451	286	249	▲63	▲3,940	▲275	21,459	2,934
	2018	13,722	-	3,103	-	2,098	-	1,788	-	1,165	-	312	-	▲3,665	-	18,525	-

(注) 2019年度1Qより、欧州を「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分けて表示（従来は「植物性油脂」に含む）。2018年度実績も遡及修正済み。

\* 2019(4-3月12ヶ月)は、日本事業と海外グループ会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期を2019年4月 - 2020年3月に統一した12ヶ月数値。比較は単純比較。

20年度予想ポイント

植物性油脂	<b>新型コロナウイルスの影響を売上高111.2億円、営業利益4.2億円と見込む。</b>	
	日本	採算重視の継続も、販売数量の減少見込み、減益計画。
	米州	販売数量の減少による減益を見込む。
	東南アジア	原材料の採算性の改善などを見込む。
業務用 チョコレート	<b>新型コロナウイルスの影響を売上高190.4億円、営業利益25.4億円と見込む。</b>	
	日本	上期を中心にお土産向けなどの減少を見込む。
乳化・発酵 素材	<b>新型コロナウイルスの影響を売上高89.0億円、営業利益6.3億円と見込む。</b>	
	日本	外食向けのクリームの販売減少を見込む
	東南アジア	調製品事業の不振を見込む。
大豆加工 素材	中国	販売数量の伸長、収益を重視した販売により増収増益計画。
	<b>新型コロナウイルスの影響を売上高42.0億円、営業利益2.9億円と見込む。</b>	
	日本での新工場の寄与はあるものの、新型コロナウイルスの影響及び、欧州での新工場の費用先行により減益。	

◆ 11. 中期戦略製品群別 販売数量推移(対前年同期比)

セグメント	製品群	エリア	2017 (年間)	2018						2018 (年間)	2019						2019 年間(*4) 海外19.1 月-20.3 月	
				1Q	2Q	(上期)	3Q	4Q	(下期)		1Q	2Q	(上期)	3Q	4Q 海外10- 12月	4Q 海外1-3 月		下期(*3) 海外7-3 月
植物性油脂	チョコレート用油脂 (CBE, CBR, CBS)	日本	99%	96%	98%	97%	96%	96%	96%	97%	97%	107%	102%	108%	108%	-	108%	105%
		米州	85%	104%	103%	104%	109%	93%	101%	102%	98%	103%	100%	107%	107%	110%	108%	105%
		東南アジア	108%	112%	102%	107%	80%	98%	88%	97%	98%	95%	97%	95%	74%	87%	85%	90%
		中国	114%	83%	103%	90%	96%	87%	91%	91%	73%	97%	83%	65%	83%	52%	68%	74%
		欧州	102%	92%	105%	98%	90%	90%	90%	93%	84%	83%	84%	78%	103%	93%	91%	88%
		合計	99%	103%	102%	103%	91%	95%	93%	97%	94%	97%	96%	98%	92%	94%	94%	94%
業務用 チョコレート	チョコレート (カカオ製品を含む)	日本	102%	102%	91%	96%	99%	90%	95%	96%	93%	103%	98%	100%	102%	-	101%	100%
		米州	89%	93%	92%	92%	102%	117%	110%	101%	82%	131%	96%	105%	128%	105%	113%	106%
		東南アジア	124%	104%	98%	101%	101%	107%	104%	103%	119%	127%	123%	106%	101%	98%	102%	110%
		中国	92%	141%	114%	127%	114%	121%	118%	122%	99%	104%	101%	106%	121%	82%	105%	103%
		欧州	105%	122%	131%	127%	120%	119%	120%	123%	123%	106%	114%	114%	95%	97%	102%	106%
		合計(*1)	101%	100%	96%	98%	105%	110%	107%	103%	95%	115%	104%	104%	111%	101%	106%	105%
		Blommer (*2 参考)	-	-	-	-	-	-	-	-	107%	98%	102%	93%	91%	-	92%	97%
乳化・発酵 素材	クリーム	日本	104%	104%	101%	102%	94%	99%	96%	99%	107%	104%	105%	97%	96%	-	97%	101%
		東南アジア	120%	125%	100%	111%	103%	114%	109%	110%	116%	116%	116%	130%	105%	85%	104%	110%
	マーガリン・ ショートニング	日本	98%	96%	98%	97%	96%	92%	94%	96%	84%	85%	85%	82%	86%	-	84%	84%
		中国	110%	95%	99%	97%	92%	122%	106%	103%	94%	88%	91%	83%	86%	77%	82%	86%
	フィリング	中国	160%	161%	132%	145%	139%	141%	140%	142%	115%	114%	114%	98%	98%	72%	90%	99%
大豆 加工素材	大豆たん白素材	日本	103%	104%	104%	104%	105%	102%	104%	104%	101%	104%	103%	102%	109%	-	106%	104%
	大豆たん白食品	日本	89%	83%	84%	83%	103%	105%	104%	93%	108%	102%	105%	98%	98%	-	98%	101%
	機能剤	日本	103%	96%	107%	102%	91%	107%	99%	101%	96%	90%	93%	110%	83%	-	95%	94%

(注) 製品区分定義の見直し等により、過年度の実数に変更がある場合は遡及修正後数値を表示

\*1: Blommerの数量は除いて算出 \*2: BlommerのP/L連結は2019年1Qから開始、参考値として連結前の同月期の販売数量実績対比の指数を掲載

\*3: 下期(海外7-3月)については、日本等の3月決算の会社は10-3月を、12月から3月に決算期を変更した海外グループ会社は7-3月の前年同期間を比較。

\*4: 2019年については、従来より3月決算の会社の12ヶ月間の数量と、決算期を12月から3月に変更した海外グループ会社の15ヶ月間の数量の合計を、前年同月比で比較。

2019年度ポイント

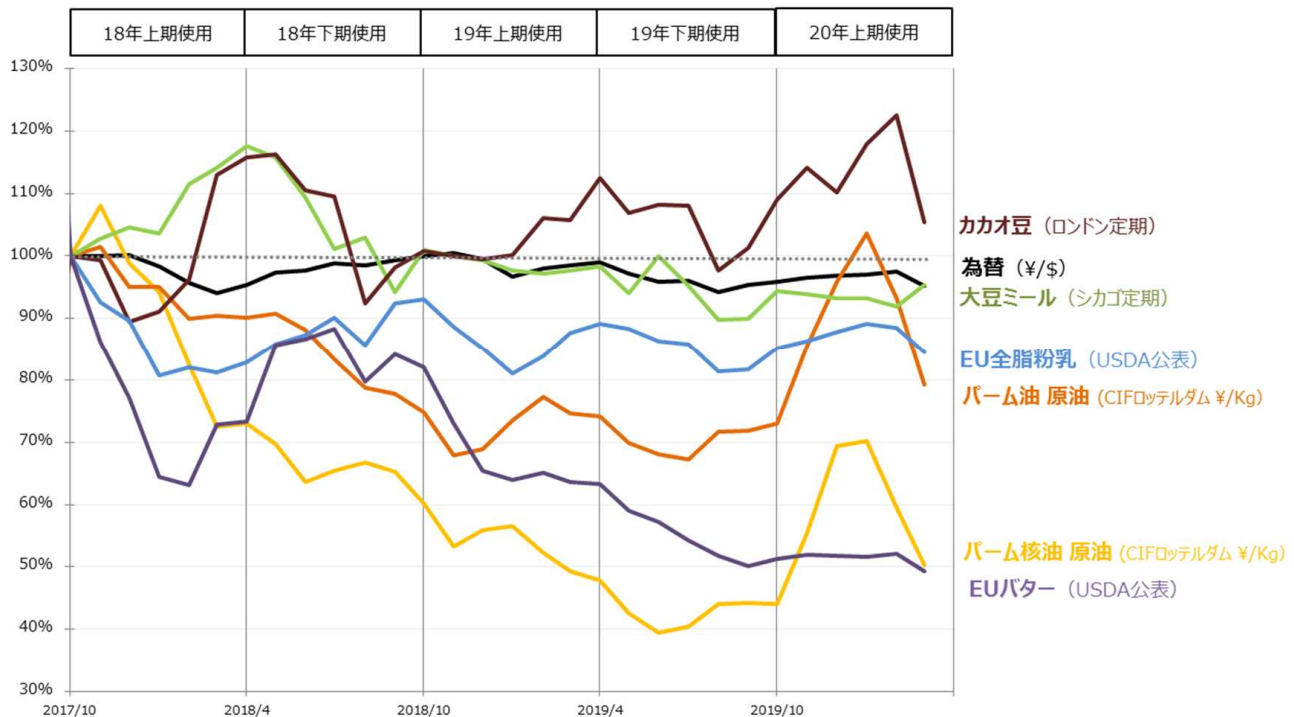
植物性油脂	日本、米州においてCBEの販売が堅調に推移。 中国ではポートフォリオの見直し、欧州では、市場環境の変化によりCBRやCBSが減少。
業務用チョコレート	日本ではアイス向けは減少したが、菓子向けに数量が増加。米州(ブラジル)は、1Qは前期の生産トラブルが影響し数量が減少したが、2Q以降は数量重視の販売施策により回復基調へ。東南アジアは、豪州IFSの新規連結により増加、また欧州も堅調に推移し増加。Blommerは生産面のボトルネックから契約数量引き下げにより減少。
乳化・発酵素材	日本のクリームは3Q以降にドリンク類の減少はあったが、デザート市場向けにて増加。 中国ではパン市場向けの競争増により拡大スピード減速に加え、4Qは新型コロナウイルス影響で減少。
大豆加工素材	日本の大豆たん白素材は健康栄養市場やシリアル向けを中心に増加、 また、大豆たん白食品は横ばいで推移、機能剤は販売期ずれにより減少。

## ◆ 12. 主要関連相場

- ・当グループ事業に影響のある主な原料の国際相場について、円換算した価格を指数化し一覧化したものであり、実際の使用原料相場とは相違があります。
- ・当グループの原料手当期間に合わせ、使用時期と手当時期を半年ずらして表示しています。

### 主要関連原料相場推移（円換算後）

※2017/10/1の相場を100とする



### 主な為替レート

- ・ P/L : 期中平均レート、B/S : 期末レート

#### 主要為替レート

		2018年度	2019年度	対前年同期		2020年度
		期末	期末	差	増減率	計画前提
\$	P/L	110.43	109.03	▲1.40	▲1.3%	109.05
	B/S	111.00	108.83	▲2.17	▲2.0%	-
BRL	P/L	30.38	27.07	▲3.31	▲10.9%	27.95
	B/S	28.65	20.94	▲7.71	▲26.9%	-
€	P/L	130.42	121.68	▲8.74	▲6.7%	122.33
	B/S	127.00	119.55	▲7.45	▲5.9%	-
元	P/L	16.72	15.75	▲0.97	▲5.8%	15.83
	B/S	16.16	15.31	▲0.85	▲5.3%	-

- ・当グループでは、仕入れは為替予約を用いて実施しています。

## ◆13. 中期経営計画

### 基本戦略



### 基本方針

- ①コアコンピタンスの強化
- ②大豆事業の成長
- ③機能性高付加価値事業の展開
- ④コストダウンとグローバルスタンダードへの統一

※基準年

	16年度 実績	17年度 実績	18年度 実績	19年度 実績*1	20年度 予想		中計策定時 20年度目標
ROE	8.3%	8.8%	7.3%	10.5%	7.2%	—	10.0%
売上高純利益率	4.1%	4.5%	3.8%	3.9%	3.1%	—	約5%
総資産回転率	107.5%	113.6%	77.0%	112.9%	100.9%	—	約115%
財務レバレッジ	1.8倍	1.7倍	2.5倍	2.4倍	2.3倍	—	約1.8倍
EPS	140.8円	159.9円	134.7円	190.5円	133.8円	—	EPS CAGR 8%以上
EPS成長率	31.2%	13.5%	▲15.7%	—	—	—	
営業利益	197億円	205億円	185億円	236億円	193億円	—	営業利益 CAGR 6%以上
営業利益成長率	16.9%	4.0%	▲9.5%	—	—	—	
株主還元 (配当性向)	31.2%	30.0%	37.1%	29.4%	43.4%	—	配当性向 30-40%
営業キャッシュフロー	165億円	282億円	226億円	371億円	337億円	4か年間の累 計予想 1,216億円	4か年累計 1,000億円
CCC	110日	103日	105日*2	113日*3	104日	—	CCC 10日間 の短縮
売上債権	74日	76日	—	62日	62日	—	
棚卸資産	65日	57日	—	75日	68日	—	
仕入債務	29日	30日	—	25日	26日	—	
設備投資	136億円	147億円	159億円	180億円	230億円	4か年の累計 予想 716億円	4か年累計 600-700億円
M&A	—	—	Blommer・ IFS	—	—	—	500億円の 資金確保

\*1：19年度実績は海外グループ会社(Blommer、豪州IFSを除く)の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算の数値を反映。

\*2：18年度のCCCはBlommerを除く

\*3：19年度のCCCは、15ヶ月決算適用海外グループ会社について12ヶ月換算し算出

## ◆14. トピックス

2019年5月	「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言に賛同及びTCFDコンソーシアムへの参画
2019年6月	公募ハイブリッド社債発行
2019年7月	「サステナビリティレポート2019」を公開 Fuji Brandenburg GmbH設立
2019年8月	「統合報告書2019」発行
2019年12月	「責任あるパーム油調達」に関する取組み状況の報告
2020年1月	CDP「気候変動A-(マイナス)リスト」に選定
2020年2月	CDP「フォレスト(森林)Aリスト」、「ウォーター(水)A-(マイナス)リスト」に選定 FUJI GLOBAL CHOCOLATE(M) SDN.BHD.の株式の追加取得、同社を完全子会社化